

よ！全員集合！！

一緒に楽しみながら、ボランティア！！

しろう青い鳥・くすの木学級で活躍

視覚と聴覚に障がいのある方が、様々な学習や体験を通じ仲間づくりのきっかけとする「青い鳥学級（視覚に障がいのある方が対象）」と「くすの木学級（聴覚に障がいがある方が対象）」では、多数のボランティアが登録し、サポーターとして運営を支えています。

9月7日(日) くすのき学級



ちょっと一息
手話でおしゃべり。

山崎の国見の森公園にて、ハイキングと木工体験をしました。

「普段はこんなに歩くことないな」などと話しながら、山頂の展望台までの3.5キロを学級生とボランティアが共に楽しく登りました。

社協では、障がいをもつ方を支えるボランティアの養成や支援も行っています。

関心のある方のご連絡をお待ちしています。



ぼらんちゃん

ボランティア・
市民活動センター
お問い合わせ先

本部 72-8787

山崎 62-5530

一宮 72-2211

波賀 75-3631

千種 76-3390

(宍粟市ボランティア・市民活動センター
イメージキャラクター)

コーディネーター日誌



講座の最終日には、みなさん上手にお気に入りの詩や文章を朗読しました。

9月19日(金) 朗読奉仕員養成講座

6月から始まった10回の講座も、この日最終日を迎えた。「聞く人の立場になって、読んでみましょう」という加藤逸子先生のやさしく、ユーモアあふれる指導で、発声や滑舌^{かつぜつ}など基礎から学んだ。

実技では、受講生がレポーターになって、ニュース原稿を読んだり、自分の声を録音して聞いてみるなど楽しい体験もあった。

修了された31名の方は、今後朗読ボランティアグループや、高齢者施設での読み聞かせなどに活躍される予定。みなさんの今後の活動を、応援していきたい。

(山崎支部 前野瑞恵)

コーディネーター日誌



9月17日(水) 話し方講座

メイプル福祉センターにて、全3回の講座が終了。参加者は21名。講師は、トータルマナー研究所の河本栄味子先生。話し方の基本を楽しく学んだ。「緊張しているときほどゆっくりとした動作で、恥ずかしがらずに堂々と」のアドバイスで「人前に出ると頭の中が真っ白になる」「どきどきして早口になる」と言われていた参加者も、気の持ち方でずいぶん楽になった様子。最後の1分間スピーチではみなさん堂々たるもの。今後、ボランティア活動への参加呼びかけや、仲間作りに役立てばいいと思う。

(波賀支部 坂本幸子)